

No.92 2008年 冬号

「今日はお寿司！」
もはや“ごちそう”ではない回転寿司
～生活の多様化で頻度増加、お寿司の摂食実態～

《トピックス》

＜多様化する「お寿司」の形態＞

- 「お寿司」といえば「回転寿司」、6割以上が連想。
- いろんなお寿司を「月2回」、多様化で頻度増加。

＜我が家の「お寿司」の法則と実態＞

- 「回転寿司」は“ごちそう”にあらず。今や、日常の食生活のワンシーンに。
- “お寿司決定権”は主婦にあり。
- 回転寿司は家計のうち。気にせず食べて「1387円」、前回調査に比べて88円アップ。
- 家で作るのは「五目ちらし」。「いなり寿司」は関東、「手巻き」は関西。

＜「寿司ネタ」ランキング＞

- 「手巻き」「テイクアウトの握り寿司」には「マグロ」、回転寿司には「サーモン」がよく登場。
- 好きなネタ「トロ」、セーブの理由はメタボ？
- 「寿司ネタランキング」に異変！「サーモン」大躍進。90年から08年の推移。

＜ひな祭りとお寿司＞

- ひな祭りは主婦の楽しみ？男子の家でも「お寿司」登場。
- ひな祭りは、やっぱり「手作り」「五目ちらし」。

★情報あらかると★

自分を寿司ネタにたとえると ～玉子焼きのイメージは、あったかいお母さん～

2008年2月

調査概要

「お寿司」といっても、お寿司屋さんで食べるお寿司、我が家で作る手巻き寿司、お総菜の持ち帰り寿司など、その種類は様々です。この10年、回転寿司の普及と生活の多様化で、私たちのお寿司に対する意識も変化してきています。

ミツカンでは子供を持つ30代40代の主婦を対象に、この時代の「お寿司」の認識と摂食実態を聞きました。「お寿司」は今もごちそうか、「お寿司にする日」には理由があるのか、そしてどんなお寿司をどのくらいの頻度で食べているのか、首都圏、関西圏での違いの他、過去の同様の調査結果も併せてご紹介いたします。

- ◆調査名：「お寿司」の認識と摂食実態に関する調査
- ◆調査方法：FAXによるアンケート調査
- ◆調査時期：2008年1月10日（木）～1月16日（水）
- ◆調査対象：首都圏、および関西圏に居住する子供を持つ30～49歳の主婦
- ◆有効回収数：470票（78.3%）

	合計	30代	40代
合計	470	235	235
首都圏	230	116	114
関西圏	240	119	121

※過去の調査対象

- ★1990年：東京、名古屋、大阪、岡山、広島、福岡、鹿児島の主婦 582人
- ★1993年：札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、岡山、広島、高松、福岡、鹿児島の主婦 566人
- ★1996年：札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、高松、福岡の主婦 541人
- ★2000年：東京都および大阪府の主婦 231人
- ★2003年：東京都および大阪府の主婦 338人
- ★2005年：首都圏および関西圏の主婦 324人

調査結果のポイント

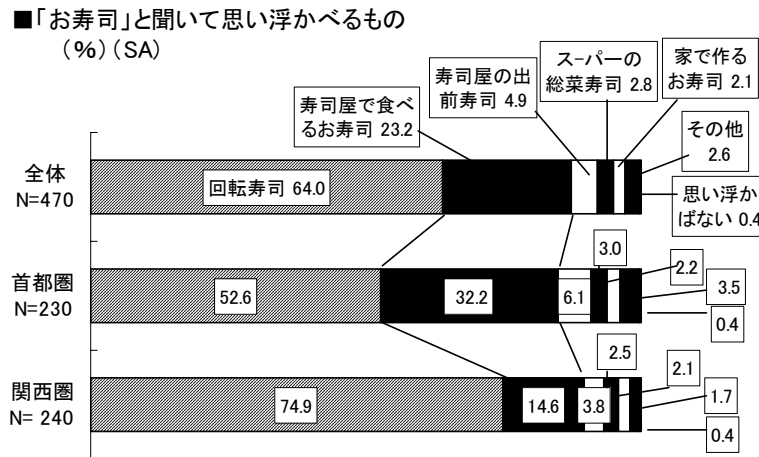
- ◆「お寿司」の第一想起は「回転寿司」が最も多く（6割以上）、特に関西では7割以上だ。2005年の調査でも「回転寿司」は過半数を占め、トップだったが、今回はさらにそのポイントを上げている。
- ◆この1年で「テイクアウトのお寿司」「回転寿司」「家で作るお寿司」など、月に「2回」お寿司を食べており、前回（05年）調査に比べ、摂食頻度は月に「0.3回」ほど増えている。
- ◆「お寿司はすべてごちそう」という答えも2割いるものの、大多数の主婦にとって、ごちそうは「寿司屋のお寿司」のみで、「回転寿司」はごちそうとはみなされていない。
- ◆「寿司屋のお寿司」を食べるのは家族に“ハレ”のお祝いがあったとき、「回転寿司」は子供中心、「家で作るお寿司」はひな祭りなどの行事、「総菜寿司」は主婦が忙しいとき…これが“我が家のお寿司の法則”。ちなみに「お寿司にしよう」と口火を切るのは「子供」だが、決定権は「夫」を抑え「主婦」にある。
- ◆回転寿司では「予算を気にせず思う存分食べ」、一人平均「1387円」で、前回（05年）調査より「88円」アップ。費用は「家計費から出す」がほぼ8割で、回転寿司もふだんの食事のうち、というわけだ。
- ◆この1年で9割近くの主婦が「五目ちらし」「手巻き寿司」などを作り、「いなり寿司」は首都圏で、「手巻き寿司」は関西圏で人気がある。よく買うお寿司は「握り寿司」だ。
- ◆好きなネタのトップは「トロ」だが、オーダーするのは「サーモン」や「マグロ（赤身）」。費用を気にしない回転寿司で「トロ」をセーブするのはメタボを意識してのことだろうか。
- ◆ひな祭りにお寿司を食べる家庭は7割以上に達し、女子のみの家庭ではほぼ9割で、男子のみの家庭でも半数が食べている。「五目ちらし」が最も多く、「手作り」が9割で、特に祖父母と同居の家庭では100%が手作りだ。ひな祭りにお寿司を作ることは、「行事食を子供に伝える良い機会」「祝うしきたりなので作ってあげたい」という母心が多くあげられた。

◆多様化する「お寿司」の形態◆

●「お寿司」といえば「回転寿司」

「お寿司」と聞いて、まず思い浮かべるのは「回転寿司」が最も多く、全体の6割以上(64.0%)を占めました。特に関西では、「回転寿司」の比率が高く、7割以上(74.9%)にのびります。首都圏では江戸前寿司の影響でしょうか、3人に1人が「寿司屋で食べるお寿司」と答えています。

2005年に実施した同様の調査でも「回転寿司」は、過半数を占め、トップでしたが、今回はさらにそのポイントを上げています。



お寿司と聞いて思い浮かべるもの SA (%)	今回 N=470	2005年 N=324
回転寿司	64.0	58.6
寿司屋で食べるお寿司	23.2	22.2
寿司屋の出前寿司	4.9	4.9
スーパーの総菜寿司	2.8	2.2
家で作るお寿司	2.1	6.5
特に思い浮かばない	0.4	2.5
その他	2.6	3.1

●いろいろなお寿司を「月2回」、多様化で頻度増加

この1年でどんなお寿司を食べたかという、スーパーやデパ地下などの「テイクアウトのお寿司」が最も多く月に「0.8回」、次いで「回転寿司」の「0.6回」、「家で作るお寿司」の「0.5回」でした。

すべてを合計すると「月に2回」はお寿司を食べていることになります。

これは、2005年の調査に比べ、月に0.3回ほど増えています。この3年間、生活の多様化にともない、いろいろなスタイルのお寿司を食べる機会が増えたということなのでしょうか。

この1年で食べたお寿司の種類と回数 (月平均)	全体 N=470	首都圏 N=230	関西圏 N=240
テイクアウトのお寿司	0.8	0.8	0.9
回転寿司	0.6	0.6	0.6
家で作るお寿司	0.5	0.5	0.5
寿司屋のお寿司	0.1	0.1	0.1
お寿司計	2.0	2.1	2.0

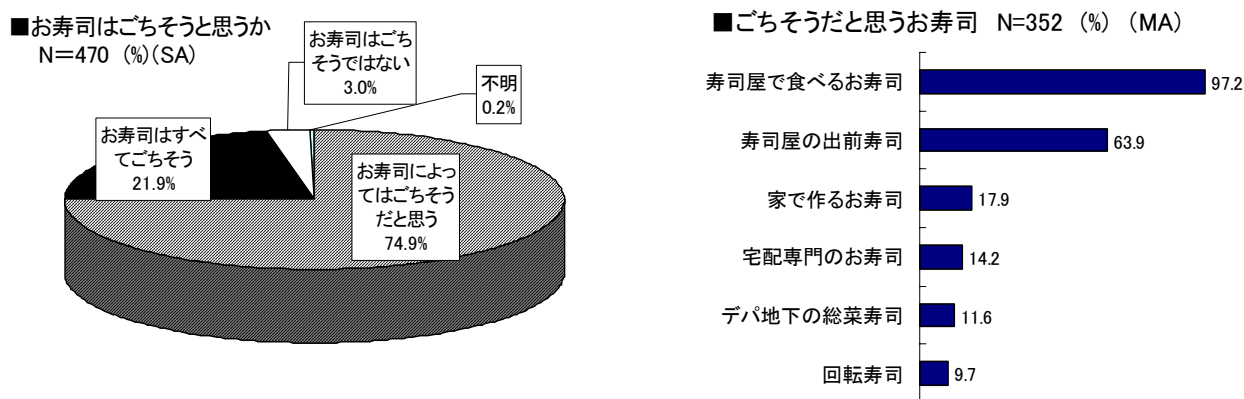
2005年の調査結果	合計 N=324	首都圏 N=161	関西圏 N=163
お寿司計	1.7	1.5	1.9

◆我が家の「お寿司」の法則◆

●「回転寿司」は“ごちそう”にあらず。

では、お寿司に「ごちそう」のイメージはあるのでしょうか。「お寿司によってはごちそう」という答えが 74.9%で大多数を占め、「お寿司はすべてごちそう」という答えは 2 割ほどでした。

「お寿司による」と答えた 352 人がごちそうと思うのは「寿司屋で食べるお寿司」「寿司屋の出前寿司」で、「回転寿司」はわずか 9.7%でした。「回転寿司」は、今やごちそうとはいえず、日常の食生活のワンシーンというわけです。



●「今日はお寿司」、その理由に我が家の法則あり

では、どんなときに「今日はお寿司」となるのか、お寿司の種類別に聞きました。

【寿司屋のお寿司】…家族の“ハレ”の日や懐具合がリッチなときなど、幸せを家族で祝うときには、高くてもお寿司屋さんのお寿司です。

【回転寿司】…子供中心で、家族揃って外出した際に気軽に立ち寄っている様子が伺えます。

【家で作るお寿司】…ひな祭りの行事食としてのほか、子供のリクエストで作ることもあるようです。

【総菜寿司、テイクアウトのお寿司】…主婦が忙しいとき、お助けメニューとして役立っています。また、主婦自身が食べたくて買うこともあります。

「今日はお寿司にしよう」というときには、それなりの理由があり、その理由によって、お寿司の種類も変わるというわけで、いわば「我が家のお寿司の法則」が見えてくるというわけです。

■今日はお寿司、と思うのはどんなとき N=470 (%) (MA)

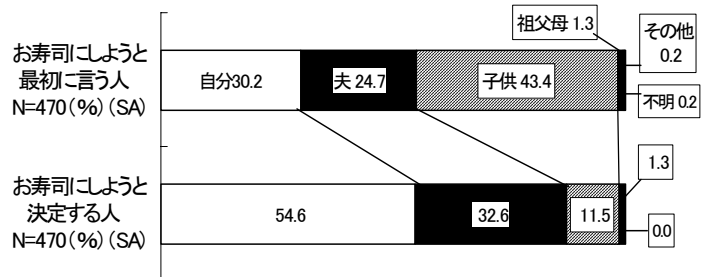
●寿司屋のお寿司		●回転寿司		●家で作るお寿司		●総菜寿司、テイクアウトのお寿司	
1 家族に良いことがあったとき	34.0	1 子供が食べたいとき	61.3	1 ひな祭りなどの行事食として	64.7	1 食事を作る時間が短いとき	55.1
2 臨時収入があったとき	28.9	2 家族揃って出かけたとき	60.9	2 子供が食べたいとき	26.2	2 自分が忙しい、疲れているとき	52.8
3 家族親戚が揃うとき	16.6	3 自分が食べたいとき	24.9	3 家族に良いことがあったとき	23.4	3 自分が食べたいとき	30.9
4 家族揃って出かけたとき	10.6	4 自分が忙しい、疲れているとき	23.2	4 自分が食べたいとき	20.6	4 子供が食べたいとき	24.9
5 友人が集まったとき	10.4	5 家族に良いことがあったとき	22.6	5 メニューが思いつかないとき	20.4	5 メニューが思いつかないとき	17.2
6 自分に良いことがあったとき	8.9	6 臨時収入があったとき	19.6	6 人を招いたとき	17.4	6 夫が不在のとき	15.7
7 自分が食べたいとき	8.5	7 食事を作る時間が短いとき	17.7	7 家族親戚が揃うとき	17.0	7 人を招いたとき	15.1
8 自分へのご褒美として	7.0	8 家族親戚が揃うとき	13.4	8 あっさりしたものが食べたいとき	13.0	8 家族親戚が揃うとき	14.3
9 人を招いたとき	6.2	9 夫が不在のとき	11.3	9 友人が集まったとき	11.3	8 あっさりしたものが食べたいとき	14.3
10 魚が食べたいとき	4.9	10 あっさりしたものが食べたいとき	10.4	10 魚が食べたいとき	8.5	10 友人が集まったとき	12.1

◆「お寿司」の実態◆

●“お寿司決定権”は主婦にあり

「お寿司にしよう」と最初に口火を切るのは、「子供」が多いのですが、「主婦」や「夫」が言い出すことも少なくありません。お寿司はみんなが好きなもの、食べたいものというわけです。

ただし決定権となると「主婦」が過半数を占め、夫の3割を抑えました。



●回転寿司は家計のうち。気にせず食べて 1387 円

回転寿司を食べるときには、ネタの制限もなく、予算を前もって決めることもなく、思う存分食べています。

一人当たりの金額は平均 1387 円で、前回(05年)調査の30代、40代の主婦の平均金額と比較すると、88円アップしています。

また、関西に比べ、首都圏の方が250円も高くなっています。

回転寿司の費用は、日頃の家計費から出すという答えが8割近くに達しており、やはり回転寿司は“ごちそう”ではないようです。

また、祖父母と同居の家庭では、祖父母が出してくれることが多く(35.1%)、フルタイム勤務の妻は、自分のお財布から出すこともある(20.4%)ようです。

■回転寿司で心がけること N=470 (%) (MA)

1	予算は気にせず思う存分食べる	83.0
2	一皿を家族で分ける	18.8
3	高価なネタは枚数を制限する	15.5
4	皿を値段別にわけておく	8.1
5	予算をあらかじめ決めておく	6.3

■回転寿司の一人当たりの費用

	全体 (N=458)	首都圏 (N=224)	関西圏 (N=234)
今回調査	1387円	1515円	1265円
05年調査	1299円	1439円	1161円

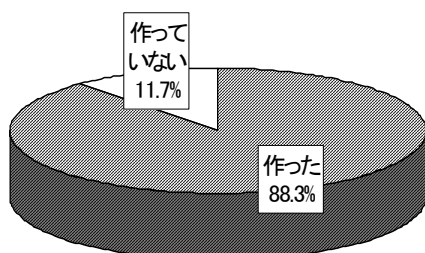
■回転寿司の費用を出す人 (%) (MA)	全体 N=458	妻がフルタイム 勤務N=49	祖父母と 同居N=57
家計の食費から出す	78.2	79.6	78.9
祖父母が出す	20.5	18.4	35.1
夫が出す	19.2	16.3	17.5
妻が出す	11.8	20.4	10.5
夫婦で割り勘	2.4	0.0	1.8

●家で作るのは「五目ちらし」。「いなり寿司」は関東、「手巻き」は関西。

手作りお寿司も人気です。この1年では9割近くの主婦が、お寿司を作っています。

その種類は、「五目ちらし」「手巻き寿司」「いなり寿司」などで、「五目ちらし」は首都圏、関西圏ともによく作られており、「いなり寿司」は首都圏で、「手巻き寿司」は関西圏で人気です。

■この1年、お寿司を作ったことは N=470 (%) (SA)



■家で作ったお寿司の種類 (%) (MA)	全体 N=415	首都圏 N=200	関西圏 N=215	
1	五目ちらし	76.4	75.5	77.2
2	手巻き寿司	64.6	58.5	70.2
3	いなり寿司	54.5	64.5	45.1
4	のり巻き	35.4	42.0	29.3
5	生ちらし	29.9	33.0	27.0
6	太巻き	22.2	25.5	19.1

●よく買うお寿司は「握り寿司」

スーパーやデパ地下、コンビニなどでよく買うお寿司では「握り寿司」「のり巻き」「いなり寿司」「太巻き」などです。「握り寿司」は家庭では作れないからなのでしょう、多くの方が購入しています。

また、祖父母と同居の59世帯では、全体的に購入ポイントが高めです。お寿司は、おじいちゃん、おばあちゃんも含めた全世代に好まれているメニューということなのでしょう。

■よく買うお寿司 (%) (MA)		全体 N=470	祖父母と同居 N=59
1	握り寿司	72.1	81.4
2	のり巻き	51.5	64.4
3	いなり寿司	50.0	66.1
4	太巻き	44.0	35.6
5	生ちらし	23.4	18.6
6	手巻き寿司	18.7	23.7

☆情報あ・ら・か・る・と☆

◆自分を寿司ネタにたとえると ～玉子焼きのイメージは、あったかいお母さん～

家庭で手作りしたり、スーパーやコンビニで買ったり、寿司屋に食べに行ったり。ハレの日の食事だった以前とは違って、お寿司はずいぶん身近になりました。お寿司はネタの数だけ種類があり、子どもから大人までそれぞれがお気に入りのネタを持っています。また、インターネットでは自分の生年月日でキャラクターに合ったお寿司のネタが分かるという面白い占いサイトも人気です。

そこで、お寿司のネタからイメージしてもらい「あなたを寿司ネタにたとえると何ですか？」とたずねました。すると、意外で面白い答えが続出！ また、主婦ならではの傾向もみられました。

■上位5

1	玉子焼き	65人
2	マグロ(赤身)	45人
3	イカ	32人
4	サーモン	28人
5	エビ	24人
5	イクラ	24人

圧倒的に多かったのは玉子焼き。その理由をまとめると「平凡で目立たないけど、甘くておいしく、あるとホッとする。子どもも好きだし、みんなも好きだから」という玉子焼きのほんわか温かみのある“お母さんの”な要素が認められたようです。

2位のマグロは「お寿司には欠かせない存在だけど、特に高価でもなく普通。スタンダード」という声が多くあげられています。玉子焼きにしてもマグロにしても、その寿司ネタの控えめなイメージが、選択した大きな理由となっているようです。

その他のネタについては、以下のような面白い答えもありましたのでご紹介します。

□甘エビ…「子どもに甘いと言われるから」

□エビ…「あだ名がエビ(えみ)だから」「いつもバタバタしているから」

□トロ…「脂がのっている大トロは、まさにメタボの私です」「トロイので」

□シメサバ…「好き嫌いがはっきりしているから」「酸いも甘いも浸みている感じ」

□アナゴ…「肌が黒いから」「見た目より食べてみたほうがおいしいから」

□サーモン…「優しい色合いで女性らしいから」「それほど高価ではないが、万人うけするから」

□イカ…「かめばかむほど味がでるから」「クールであっさりしているが、かみごたえがある」

□ホタテ…「色が白くて丸顔だから」

□イクラ…「小粒の集まりで大きなパワーって感じだから」「一番高いイメージ(家族の中心)だから」

□キュウリ…「サッパリ、シャキシャキしているから」

□レタス…「人前に出るのが苦手で、脇役に回ることが多いから」

◆「寿司ネタ」ランキング◆

●「手巻き寿司」「テイクアウトの握り寿司」にはマグロ、「回転寿司」にはサーモンがよく登場

家で作る手巻き寿司に、回転寿司でのオーダーに、テイクアウトで買う握り寿司に、どんなネタが登場しているのでしょうか。

「家で食べる手巻き寿司」のネタとしてはマグロ(赤身)がトップ(80.9%)にランクされ、手巻きには欠かせない存在です。また、玉子焼き、ツナなど子供の好きなネタやキュウリ、納豆など家庭ならではのネタが上位にランクされています。

「回転寿司」では、①サーモン②マグロ(赤身)③イカ④トロ⑤ハマチなど、トップのサーモンの他は僅差で並びました。

「テイクアウトの握り寿司」では、①マグロ(赤身)②サーモン③イクラ④イカ⑤エビなど、色鮮やかなネタ揃いです。

■寿司ネタ登場ランキング (%) (MA)

家の手巻き寿司に使う N=470		回転寿司で食べる N=458		テイクアウトの握り寿司で買う N=339				
1	マグロ:赤身	80.9	1	サーモン	59.8	1	マグロ:赤身	73.7
2	キュウリ	66.2	2	マグロ:赤身	49.1	2	サーモン	57.2
3	玉子焼き	62.3	3	イカ	48.7	3	イクラ	52.8
4	イクラ	56.0	4	トロ	48.0	4	イカ	49.0
5	ツナ	53.6	5	ハマチ	45.0	5	エビ	48.7
6	イカ	52.1	6	ホタテ	44.5	6	ネギトロ	46.3
7	サーモン	48.5	7	イクラ	42.8	7	ハマチ	41.9
8	納豆	44.9	8	ネギトロ	42.1	8	トロ	40.1
9	ネギトロ	38.9	9	エビ	41.3	9	甘エビ	35.7
10	甘エビ	37.7	10	甘エビ	39.7	10	玉子焼き	35.1

●好きなネタ「トロ」、セーブの理由はメタボ？

家族の好きなネタのベスト3は「トロ、マグロ(赤身)、サーモン」です。

妻はトロとサーモン、夫はトロがトップで、次いで「マグロ(赤身)」「ハマチ」をあげています。夫婦ともにトップは「トロ」ですが、好きなネタだからといって、手巻きのネタにしたり、寿司屋でどんどんオーダーしているわけではありません。回転寿司では値段を気にしないといっているのですから、セーブする理由はやはりメタボを意識してのことでしょうか。

唯一、子供の好きなネタのベスト3のみが、よく買うテイクアウトの握り寿司のベスト3と同じ、という結果でした。

■家族の好きなネタ N=470 (%) (MA)

家族計		妻		夫		子供					
1	トロ	52.2	1	トロ	47.7	1	トロ	64.5	1	マグロ:赤身	61.5
2	マグロ:赤身	49.1	2	サーモン	47.0	2	マグロ:赤身	50.2	2	イクラ	54.9
3	サーモン	42.6	3	ネギトロ	41.9	3	ハマチ	46.6	3	サーモン	47.7
4	イクラ	41.6	4	甘エビ	40.4	4	イカ	38.5	4	トロ	44.5
5	ネギトロ	36.7	5	ホタテ	39.6	5	ウニ	38.1	5	玉子焼き	41.7
6	甘エビ	34.5	6	イクラ	39.4	6	ネギトロ	33.8	6	エビ	35.3
7	ハマチ	34.4	7	イカ	37.7	7	サーモン	33.2	7	甘エビ	34.9
8	イカ	33.0	8	ハマチ	36.8	8	ホタテ	31.1	8	ネギトロ	34.5
9	エビ	31.1	9	マグロ:赤身	35.7	9	イクラ	30.6	9	納豆	33.0
10	ホタテ	29.4	10	アナゴ	32.3	10	タイ	29.8	10	ツナ	24.7

「すしネタランキング」に異変！90年から08年の推移

90年から過去6回調査している主婦の好きな「寿司ネタ」ランキングに異変が見られます。

トップは今回も「トロ」で96年以降、5回連続堂々の1位です。時代にかかわらず、主婦は「トロ」が大好きなようです。しかし、90年以降、上位をキープしていた「ウニ」がベスト10圏外(12位)に急落、代わって前回はランク外だった「サーモン」が突如2位にランクインしています。

国内の漁獲量が激減、輸入物が増えた「ウニ」は、価格も高騰し、今までのように、気軽に食べられなくなったということなののでしょうか。

■「寿司ネタ」ランキング 90年～2008年の推移

	90年	93年	96年	2000年	03年	05年	08年
ウニ	1位	3位	2位	4位	3位	9位	12位
トロ	2位	2位	1位	1位	1位	1位	1位
エビ	3位	1位	3位	7位	2位	8位	4位
マグロ	4位	6位	4位	2位	5位	2位	9位
イカ	5位	4位	7位	5位	6位	5位	7位
アナゴ	—	5位	5位	3位	4位	4位	10位
サーモン	—	—	—	—	—	—	2位

※03年、05年、08年の「エビ」は「甘エビ」
 ※「—」は調査データなし

■ひな祭りとお寿司■

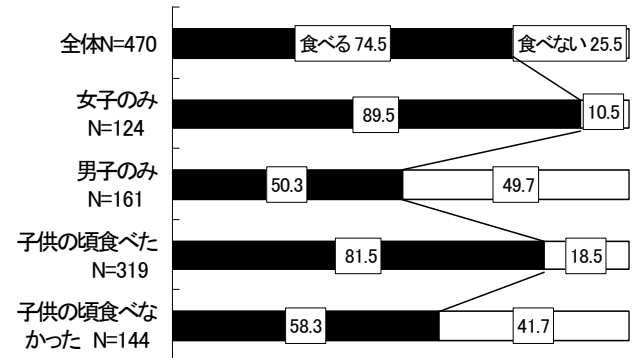
●ひな祭りは主婦の楽しみ？男子の家でも「お寿司」登場

ひな祭りにお寿司を食べる家庭は7割以上に達し、子供が女子のみの家庭ではほぼ9割です。しかし男子のみの家庭でも半数がお寿司を食べています。

また、自分が子供の頃、ひな祭りにお寿司を食べた主婦の81.5%が「ひな祭りにお寿司を食べる」と答えたのに対し、食べなかった主婦では58.3%どまりで、大きな差が出ました。

ひな祭りのお寿司は、子供のためと同時に、主婦の楽しみでもあるようです。

■ひな祭りでのお寿司の摂食実態 (%) (SA)

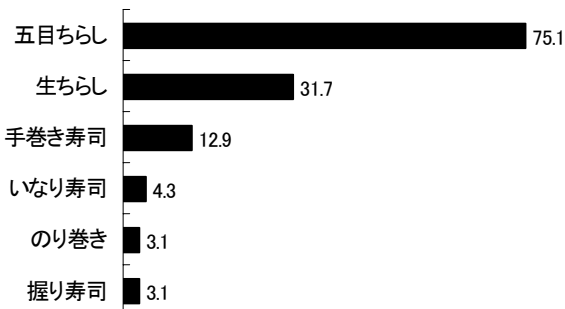


●ひな祭りは、やっぱり「手作り」「五目ちらし」

お寿司の種類は「五目ちらし」が最も多く、次いで「生ちらし」で、ちらし寿司が主流です。

「手作り」が9割を占め、特に祖父母と同居の家庭では、100%が手作りでした。また、男子のみの家庭でも9割以上が手作りをしています。

■ひな祭りに食べるお寿司の種類 N=350 (%) (MA)



■ひな祭りのお寿司の手作り度 (%) (SA)



ひな祭りにお寿司を作ることは、「行事食を子供に伝える良い機会」「祝うしきたりなので作ってあげたい」「子供が喜ぶので」「自分も嬉しかったので」という声が多くあげられました。

伝統を重んじる声と子供の喜ぶ顔を見たいという声、どちらも子供の成長を願う母の思いの表れでしょう。

■ひな祭りにお寿司を作ることについて N=470 (%) (MA)

